

個人3位の松岡が笑顔でウイニングラン



全日本学生馬術大会
10月30日～11月3日、兵庫県・三木ホースランドパーク

障害馬術団体 準優勝

障害、馬場、総合の各競技大会が行われ、3種目総合で学生馬術日本一を決める今大会。初日と2日目に行われた全日本学生賞典障害馬術競技大会で、専大馬術部が準優勝を果たした。3種目総合は5位。

障害馬術には高沢光希(経営3・静内農高)、武南友陽(経済2・岡山朝日高)、吉澤愛乃果(経済1・関東国際高)、松岡凛桜(文1・三田松聖高)の4人が出場した。チーム最高得点をマークした。(小畑祐人・文2)

今季初戦で結果を残した笠原



笠原 1500m 優勝

五輪選考会向け 上々の滑り出し

全日本スピードスケート距離別選手権大会10月24～26日、長野県・エムウェーブ

今季初戦で、笠原光太郎(経営4・帯広三条高)が男子1500mで優勝を果たした。

全体7番目で臨み、終盤の失速を抑える滑りをみせた。300m通過時間で9位だったが、700mで7位、1100mで5位と追い上げ、ラップタイムの失速を最小限に抑えた。

この結果、同種目でワールドカップ前半戦(第1～4戦)の日本代表に初選出された。2026年ミラノ・コルティナ冬奥会五輪に向け、今後はW杯と年末の選考会に標準を定め、練習を積み重ねる。

(藤林利英・文2)

65kg未満級 河本3位



賞状とトロフィーを手に笑顔の河本
撮影＝佐藤佑樹(経済2)

全日本女子相撲選手権大会10月12日、京都市武道センター

世界大会経験者をはじめとした実力者16人がトナメント形式で争った65kg未満級で、河本優心(経済1・鳥取城北高)が、3位入賞を果たした。

初戦、2回戦では高校の先輩・後輩と当たり、勝利した。しかし、準決勝で、2回戦で高校の先輩・後輩と当たり、勝利した。しかし、準決勝で、2回戦で高校の先輩・後輩と当たり、勝利した。

勝てた。今大会を制した奥田夕夏選手(日本通運)に敗れた。

河本は「1回戦で負けてばかりで、悔しい思いをたくさんしてきた」と1年間を振り返る。しかし、「積み重ねてきたことは後になって表れることが分かった。今後このまま続けていく。どんな相手でも自分らしい相撲をとって、良い成績を残せるように頑張りたい」と闘志を燃やしている。(中島胡春・ネット情報3)

バレーボール部・千葉

SVリーグ VC長野加入内定



バレーボール部の千葉貴世(経済4・東北高)が、SVリーグのVC長野トライデンツに2025～26シーズンから加入することが発表された。背番号は4番。

千葉は身長190cmでポジションはミドルブロッカー。23年春季関東大学リーグ戦でブロンズ賞を獲得するなど、高さを生かしたブロックを武器に、昨年はチームを大学日本一に導いた。

5季連続2位 ベストナインに4人

東都大学野球秋季リーグ戦(2部)11月9日～10月29日、神奈川県・等々力球場ほか

全日程が終了し、7勝4敗・勝ち点3の2位で秋季リーグ戦を終えた。連敗スタートで開幕からつまづいたが、以降は7連勝。優勝の可能性を残して迎えた最終の日大戦に勝利した。



打撃好調で初のベストナインに選出された宮崎

女子S
首藤がベスト8
女子D
福田・鈴木組も

全日本大学総合卓球選手権大会(個人の部)10月21～24日、大阪府・大浜だいしんアリーナ

女子シングルスで首藤成美(文2・希望が丘高)が、同ダブルスで福田雅子(経営3・浜松修学舎高・鈴木碧衣(文3・大成女子高)ペアが準々決勝に進出し、ベスト8入りした。

総合13位



ダンカン・マイナ(商2・専大熊本玉名高) 撮影＝君嶋悠樹

2年連続73回目の本選出場を目指した専大陸上競技部だったが、スピードレースに対抗できず、10時間39分06秒の総合13位に終わり、本戦出場はかなわなかった。

長谷川淳監督は「非常に本戦出場ならず」

に難しいレースだった。本当に選手たちは力を発揮してくれた」と語り、「力がないわけではなく、あとは積極的にいくような気持ちが必要」と答えた。

主将の葦料健斗(経営4・横浜高)は、専大生や校友・育友らの声援が大きな支えになったとし、「来年は笑顔で予選会を突破してほしい。今後も大きな声援をお願いします」と話した。(門前咲良・文3)

第2回体育会報道写真展 専スポ部員の力作41点展示

文学部ジャーナリズム学科4年次でスポーツ情報戦略研究室に所属する竹田一爽さん主催の「第2回専修大学体育会報道写真展」が10月27日から11月10日まで、生田キャンパスで開催された。9号館図書館ブラウジングプラザに、体育会本部情報局「専大スポーツ」編集部員が2025年に撮影した写真41点を展示した。

専スポ部員でもある竹田さんは「多くの人に体育会、専スポの活動を知ってもらいたい」と2年ぶりの開催を決意。前回は上回る20団体の写真を展示した。陸上競技部の箱根駅伝予選会や夏合宿の様子など、取材活動を通じて撮影した力作が会場に並んだ。さらに、今回は体育会の地域貢献活動「ONE DAY TEAMMATE」も取り上げた。



写真展を開催した竹田さん

「悪天候で撮影に苦労する場面もあったが、競技をする選手の方が大変だったと思う。本当に尊敬している」と選手の勇姿に胸を打たれた。展示写真を紹介する自作のキャプションには、今後の大会日程も記載している。「この写真展をきっかけに、学生のみんなに体育会を応援してもらいたい」と力を込めた。